



対象者&参加費  
小学1年~6年生

各回8,000円  
このチラシを見た人は

初回限定  
3,000円



# キッズ

# クリエイティブ

# マーケット



自分でお店を出し、稼ぎながら遊びながら学ぼう

実施スケジュール(各回2日間)

第1回

9/24<sub>土</sub>-25<sub>日</sub>

第2回

10/29<sub>土</sub>-30<sub>日</sub>

第3回

11/19<sub>土</sub>-20<sub>日</sub>

第4回

11/26<sub>土</sub>-27<sub>日</sub>

時間 土 13:00-17:00 日 9:00-15:00

キッズクリエイティブマーケットとは

520年以上の歴史がある秋田県五城目町の朝市に実際に出店し、その場に集まった子どもたちがチームを組み、自分たちで目標を決めて商品開発から販売までを実践する機会を提供します。

得られるスキル



好奇心



発想力



チームワーク力



問題解決力



巻き込み力



マネジメント力



## ファシリテーターについて



事務局  
松浦 智子

1980年生まれ。関西大学卒業後、東京のIT企業で働いたのち、NPO法人cobon設立。事務局長として数多くの子ども向けワークショップの企画運営にかかわったのち、2016年4月から秋田県五城目町に移住。



プログラムディレクター  
秋元 悠史

1986年生まれ。秋田県大仙市出身。早稲田大学卒業後、東京のソフトウェアベンダーで働いたのち、2010年秋に島根県海士町(あまちょう)へ移住。公立塾「隠岐国学習センター」のスタッフとして、高校生向けの教科指導、プロジェクト学習、その他事務全般を担当。2016年4月に秋田県へ帰郷。

## 一般的な、仕事体験プログラムとの違い

- A 一般的な仕事体験／フリーマーケット等
- B キッズクリエイティブマーケット

やること

- A 大人が設定したお店で既存の仕事を体験する
- B お店の内容やコンセプトを自分たちで考えてつくる

売るもの

- A 既成品／大人が作った商品
- B 自分たちがコンセプトを育てたものやつくったもの(アート作品やサービスなど)

お金のやりとり

- A 大人が介する／地域通貨・おもちゃ通貨をつかう
- B 子どもが現金をつかう、お金の使い道も自分たちで考える

## プログラム内容

### 1日目

#### ステップ1



#### チームビルディング

演劇ワークショップを使って、異なる学年の子どもたちが、お互いの個性や強みを生かすチームづくりを行います。対象となる子どもたちは、小学1年生から小学6年生までと幅広く設定しています。社会に出てからは年齢の異なる人たちと接することが当たり前であることから、異年齢のメンバーが協働する機会につなげることが狙いです。

#### ステップ2



#### デザイン思考にもとづいたプロトタイピング

最近、アメリカを中心に企業や学校の現場で複雑な問題を解決する際に使われるデザイン思考メソッドを用いて子どもたちが、朝市で販売する商品やサービスを楽しみながら創り上げていきます。  
※デザイン思考についてより詳しく知りたい方は、WEBをご覧ください。

### 2日目

#### ステップ3



#### ごじょうめ朝市plus+に出店

実際に五城目の朝市「ごじょうめ朝市plus+」に出店し、商品やサービスを販売します。また、活動の振り返りも同時に行います。「ごじょうめ朝市 plus+」では、これまで実際に小学1年生から出店した事例があります。

## 参加者のお母さんの声

自分の娘が参加した後、周りの子どもたちを集めて付箋をつかってアイデアをカタチにしようとするなど、学んだことを活かせるワークショップでした。(30代保護者)



これからの学び方を考えていくと、学校だけの学びでなく、地域の資源を活用しながら自ら仕事を創り出す創造力と、チームワークが必要だと感じていました。今後も継続して参加させたいです。(30代保護者)

学校の友達が朝市で活躍している息子を見てかっこいい！と言ってくれたことが本人にとっても大きな励みになったようです。自分の想いをカタチにする経験は今後生きていくと思いません。(40代保護者)

お申し込み方法

お申し込みはWEBから！ <http://gojome.strikingly.com>